

# 現場実証概要(令和7年現場実証結果)

技術名	ウェアラブルカメラによる映像を活用した自動河川巡視技術				
技術概要	本技術は、ウェアラブルカメラで撮影した映像をAIによる画像解析技術を使い、映っている物体、事象を検知する技術です。画像キャプションエンジンでは、物体、事象のキャプション（文字）化することで、指定したものだけの検知ではなく、自転車、ゴミ等のキャプションが行うことができるため、放置自転車（ゴミ、異物）の検知につなげることができます。		<div>【本実証実験の検証システム】</div> <div><div>動画ファイル</div><div>アップロード</div><div>A2P 画像キャプション エンジン</div><div>ダウンロード</div><div>CSV出力 ・個別オブジェクトの位置、認識テキスト ・画像全体のサイズ1行テキスト</div></div> <div>検索GUIでワード検索</div> <div>A2PCSの「画像キャプションエンジン」を用いて解析</div> <div>解析結果をワード検索</div>		
実証結果	<p>ご提供いただいた動画を3秒ごとにサンプリング（総ファイル数17,354枚）し解析を実施。検証は①：1回分の巡回動画に対し、各事象がどういうワードによって検出されるか、②：他動画に対し当該ワードで検出実行し、事象が検出できるかの確認という手順で実行した。</p> <p>①では<b>自転車</b>：bicycle クラック：crack 資材：blue tarp 落書き：graffiti ゴミ：white plastic bag 不法駐車バイク、車両：motorcycle, car中堤の天端目地開き：crack 看板：signというキーワードで検知できた。②について上記キーワードで、動画から検知できた件数はbicycle:851件 Crack:274件 blue tarp:161件Graffiti:128件White Plastic bag:312件 motorcycle, car:9961件という結果となった。解析効率化の為、映像を間引いたが、現状で一定の過剰検知は見られるものの、大量の画像から、短時間で目的の事象を検知できたことで自動河川巡視に貢献することができると思われる。</p>				
現場実証状況	<div><div><p>自転車はbicycleのワードで検出されることが多い</p></div><div><p>ゴミは、white plastic bagとして認識される</p></div><div><div>ステップ②：自転車[bicycle]</div></div></div>				
問合せ先	開発団体名		担当者	岩下 忠司	TEL 050-3809-1131
	ソニーマーケティング株式会社				